

① 『非認知能力を伸ばす乳児保育、 見守る保育（藤森メソッド）の環境づくり』

JAKUETS × 藤森メソッド

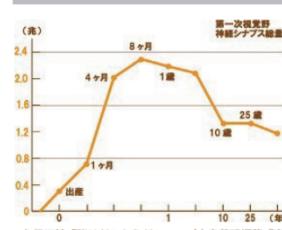
AI（人工知能）が進化していく時代では、現在ある仕事の約半数がなくなると言われています。成績と学力といった「見える学力」だけでなく、何かが起こったときに自分の頭で考えて行動できる「見えない学力」＝「非認知能力」を伸ばすことが求められています。非認知能力を伸ばす乳児教育である「見守る保育（藤森メソッド）」の考えを基に子供の主体性を育む環境づくりについて講演していただきます。



乳幼児教育家
藤森平司 / Fujimori Heiji
認定こども園 新宿せいが子ども園 園長
保育環境研究所ギビングツリー 代表
乳幼児STEM 保育研究会 理事長

大学で建築学を学び、その後小学校教諭、保育園園長、子ども園園長の実践を経て、これからの時代に必要とされる質の高い保育・教育を目指し、「見守る保育 藤森メソッド」を提唱する。欧米、アジア各国の保育施設を歴訪し、さらにメソッドを深める。また、中国、韓国、シンガポール、ドイツなどで講演。ドイツ・バイエルン州ミュンヘン教育局に15年にわたって訪問し、乳幼児教育についての情報交換を行う。現在、国内で500園あまり、海外で170園が「藤森メソッド」を取り入れている。

なぜ乳幼児からの「見守る保育」が必要なのか？



久保田 隆「脳はどこからどこへ」(小泉英明編著「育つ・学ぶ・癒す 脳図鑑 21」工作舎より)

脳の発達において、赤ちゃんは白紙の状態で生まれるのだと信じられてきましたが、脳内で情報伝達を司るシナプスの数は赤ちゃんの段階(8か月～1歳頃)がピークであり、その後は減少していきます。そこで、シナプスが形成される乳幼児期に「非認知能力を育む」ことができる「見守る保育」が必要なのです。

日時：2024年4月25日（木）

受講料：3,300円（税込）

11：00～12：00

定員：13名

② 魅力ある施設（園）づくりに必要不可欠なもの ～ブランディングの重要性～



株式会社ジャクエツ マネジメントサポート専門営業 係長 山添大輔

少子化や保育業界の変化が進む現代において、ブランディングは極めて重要なものになります。“魅力ある施設（園）づくりのために独自のアイデンティティと価値を活かし、地域社会を含めたすべての人に魅力を伝える魔法の鍵です。一貫性と認知度を高めながら、競合から際立つ存在になる為に必要な性と事例を交えご紹介いたします。すべては、魅力的なブランディングから始まります。

日時：2024年4月24日（水）

受講料：無 料

11：00～12：00

定員：13名

申込はこちらから



皆様の課題解決や事業発展に貢献できれば幸いです。

※本会場でのセミナーにつきまして、1ヵ園1名様までとさせていただきます。

※定員に達した場合、お申込みをお断りさせていただく場合がございます。

問い合わせ先：ジャクエツ沖縄店 TEL：098-863-7800 FAX：098-863-7801